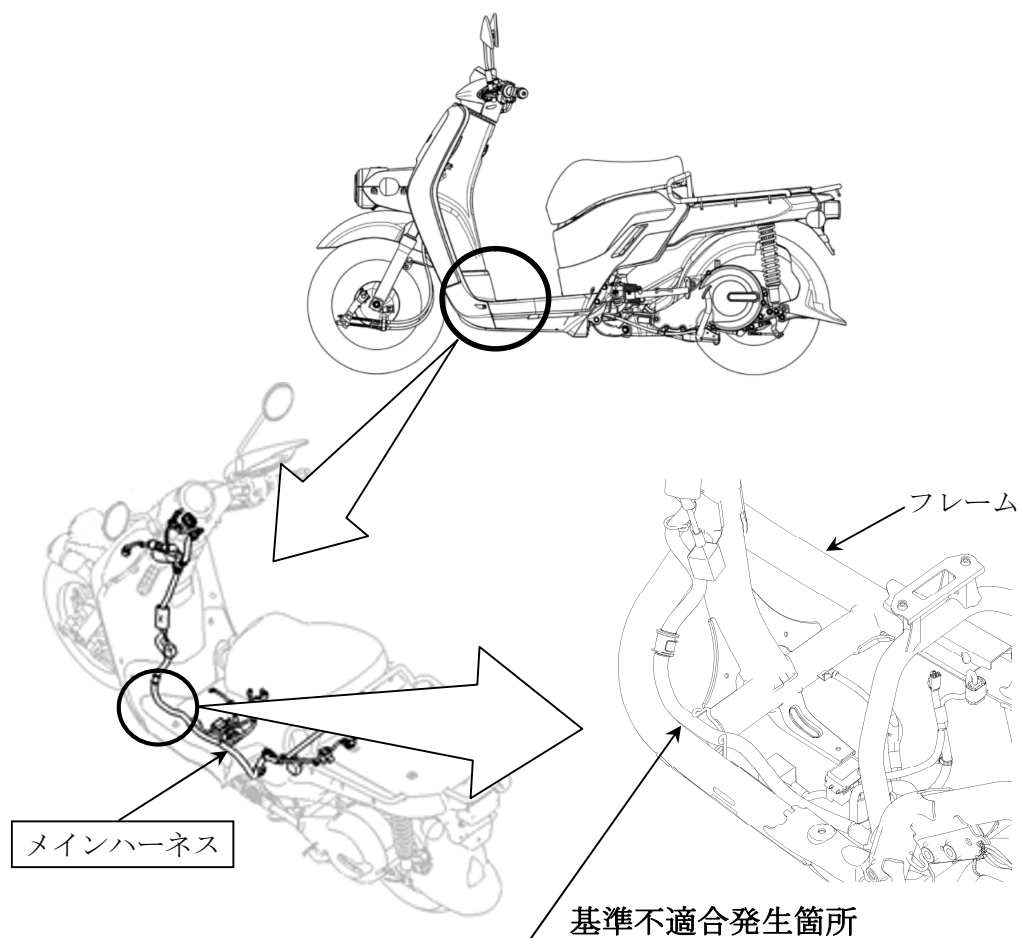


改善箇所説明図



電気配線において、フレーム溶接時のスパッタ※除去指示が不適切なため、メインハーネスの通線部にスパッタが残留しているものがある。そのため、当該ハーネスがスパッタと干渉し、そのまま使用を続けると、電線の被覆が摩耗し、芯線が露出して短絡すると、前照灯、方向指示器、速度計等の作動不良や走行不能となるおそれがある。

※溶接作業中に発生した金属粒子等がフレームに付着したもの

改善の内容

全車両、メインハーネスの損傷を点検し保護材（グロメット等）を追加する。また、メインハーネスが損傷している場合は対策品と交換する。

改善前	改善後
フレーム メインハーネス	保護材 グロメット シート メインハーネス

注： は点検により、交換する部品を示す。

は追加部品を示す。

識別：車台番号打刻部付近に赤色の識別ラベルを貼付する。